

**令和6年度  
社会人選抜**

**社会福祉学科  
小論文**

**問題・出題の意図・採点評価基準**

令和5年11月19日

高知県立大学

問1 次の文章を読み、以下の問1-1、問1-2、問1-3に日本語で教えてください。

(配点50点)

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：福岡伸一『動的平衡』木楽舎、2009年

（出題の都合で一部省略・改変した。）

問1-1 「生命の仕組み」と「機械のメカニズム」の違いを読み解くカギについて、著者の視点を100字程度でまとめてください。

（配点15点）

問1-2 著者は、「全体は部分の総和以上の何ものかである」（二重下線部）と述べています。その意味を50字程度で簡潔に説明してください。

（配点15点）

問1-3 もう一度、「全体は部分の総和以上の何ものかである」（二重下線部）について問います。全体を我々が暮らすこの社会、部分を一人ひとりの人間におきかえて、社会と人間の関係について、200字程度で論じてください。

（配点20点）

問2 次の英文は、認知症と診断された女性の手記です。英文を読み、以下の問2-1、問2-2について、指定された言語で答えてください。

(配点50点)

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：Christine Bryden, *Who Will I Be When I Die?*, Jessica Kingsley Publishers, 2012

(出題の都合で一部省略・改変した。)

問2-1 著者は、認知症と診断された女性です。上記の文章では、この人の不安が述べられています。どのような不安なのか、100字程度の日本語で説明してください。

(配点30点)

問2-2 二重下線部 I could die as “me”の“me”の状態を説明している箇所(カンマを含めず14 words)が、本文にあります。その箇所を原語のまま抜き出してください。

(配点20点)

<出題の意図>

問1

課題の内容を正確に理解し、論理的に整理できるとともに、それを踏まえて自分の考えを適切に表現できているかをみる。

問2

課題文である英文の内容を正確に理解できているかをみる。

<採点評価基準>

問1

出題文は、“全体は部分の総和以上の何ものかである”、このキーセンテンスの視点から、生命の仕組みについて論じている。この視点は社会と人間の関係の理解にも援用できる。そこで、問1では、出題文の読解と設問への論述を通して、社会福祉学科で学ぶ上で必要な理解力、論理的思考力、文章表現力を評価する。

問2

出題文は、認知症の診断を受けた女性の不安が述べられている。問2では、出題文の読解と設問への論述を通して、英文読解力と理解力を評価する。

問2-2は、以下のとおり解答していることとする。

the real me, the one I know, the one my family and friends know

以上の評価により、高等学校での学習を前提にした基礎的な学力を総合的に評価する。

